

令和3年度実施
 沖縄県立学校実習助手及び寄宿舎指導員選考試験実施要項

沖縄県教育委員会

主なスケジュール(予定)

願書受付期間 令和3年8月3日(火)～8月31日(火) ※郵送のみ
 ※インターネットでの書類作成(電子申請)は、令和3年7月26日(月)～8月30日(月)

第一次選考試験日：令和3年10月30日(土) 第一次合格発表：令和3年 11月中旬予定

第二次選考試験日：令和3年12月11日(土) 最終合格発表：令和4年 1月中旬予定
 ※台風等で延期になる場合のスケジュールは、「10 暴風雨時等の対応(6ページ)」参照

1 目的

この試験は、令和4年度における沖縄県立学校実習助手及び寄宿舎指導員の採用に当たり、選考の資料とするために実施する。

2 選考で重視する視点

次の「実習助手及び寄宿舎指導員として求める人物像」に合致する者を選考する。

- 人間性豊かで、児童生徒への教育的愛情と使命感のある者
- 幅広い教養と専門的知識・技能を有し、常に学び続ける実践的指導力のある者
- 沖縄県の自然、歴史及び文化に誇りを持ち、多様性を受容し、グローバルな視点を兼ね備えた者
- 豊かなコミュニケーション能力を有し、組織力を活用できる総合的な人間力を持った者
- 児童生徒の望ましい学習・生活環境を整えるために、教職員と連携して教育活動の充実に努めることができる者

3 選考採用職種(教科)及び採用予定者数

職 種	職 務 の 内 容	教 科	採用予定者数
実 習 助 手	高等学校及び特別支援学校高等部において、実験又は実習について、教諭の職務を助ける。	普通教科 (理科・家庭科等)	6名程度
		農 業	3名程度
		工 業	4名程度
		水 産	1名程度
寄宿舎指導員	特別支援学校の寄宿舎において、児童生徒の日常生活上の世話及び生活指導に従事する。勤務は原則3交代である。	/	若 干 名

注1) 受験申込みは、上記のうち一職種及び一教科に限る。

注2) 採用予定者数は現時点での予定者数であり、今後変更になることがある。

4 受験資格

次の(1)～(3)の条件をすべて満たす者とする。

- (1) 地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条の各号のいずれにも該当しない者
- (2) 昭和61年4月2日以降に出生した者
- (3) 短期大学卒業(卒業見込みを含む。)相当以上の学歴を有する者

注1) 高等専門学校、沖縄県立農業大学校本科、沖縄県立沖縄水産高等学校専攻科、沖縄職業能力開発大学校等を卒業した者及び専門士の称号を有している者を短期大学卒業相当とみなす。

注2) 日本国籍を有しない場合、「永住者」等活動に制限のない在留資格を有する者とする。

地方公務員法(抜粋)

(欠格条項)

第16条 次の各号のいずれかに該当する者は、条例で定める場合を除くほか、職員となり、又は競争試験若しくは選考を受けることができない。

- 1 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 2 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から二年を経過しない者
- 3 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、第六十条から第六十三条までに規定する罪を犯し、刑に処せられた者
- 4 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

5 出願手続き

(1) 出願書類の作成

出願書類は、次の①または②で作成すること。ただし、原則として①で作成すること。

①【電子申請】(インターネットを利用して必要事項を入力し、印刷する方法)

作業の流れ	ア 電子申請システム利用者IDの取得・基本情報の入力・必要書類の印刷 イ 電子申請終了後の各作業(本人の署名欄等への手書き、写真・切手の貼付等) ウ 書類の提出(郵送)
入力期間	令和3年7月26日(月) 0時 ~ 8月30日(月) 17時00分
必要な環境	ア インターネットに接続できるPC等の端末 イ プリンター ウ A4用紙(通常のコピー用紙。色つきの用紙やケント紙等の厚紙は使用しないこと) エ メールアドレス ※「pref. okinawa. lg. jp」のホスト名からのメールを受信できるよう設定しておくこと。 ※受験願書・受験票等を印刷できる環境が必要となる。
方法	ア 電子申請システム利用者IDの取得・基本情報の入力・必要書類の印刷 イ 電子申請終了後の各作業(本人の署名欄等への手書き、写真・切手の貼付等) ※詳細は、別添の「受験願書等作成要領(電子入力用)」を参照すること。 ウ 書類の提出 「(2)出願書類の提出」に従って、書類を提出すること。

②【手書き申請】(郵送で必要な書類を請求して手書きで記入し提出する方法)

請求受付期間	令和3年7月19日(月) ~ 8月27日(金)
方法	ア 出願に必要な書類の請求 ・下記のあて先に、返信用封筒として、書類の送付先の住所・氏名(敬称は「様」か「殿」とすること)を記入して210円切手を貼付した角形2号封筒を送付すること。 ・請求する封筒の表面に「 実習助手及び寄宿舎指導員試験願書請求 」と朱書きすること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">あて先: 〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 沖縄県教育庁学校人事課</div> 【注意事項】 <ul style="list-style-type: none">・書類は令和3年8月3日(火)以降、順次返送する。・往復の郵送に要する日数を考慮し、余裕を持って請求すること。・返信用封筒は折り曲げてもよい。・返信に速達を希望する者は、封筒上部に「速達」と朱書きし、500円分の切手を貼付

	<p>すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>教育庁学校人事課、各教育事務所等での配布は行わない。</u> <p>イ 書類の記入等について 出願に必要な書類の記入や写真・切手の貼付等の作業を行うこと。 ※詳細は、出願書類に同封する「<u>受験願書等作成要領(手書き用)</u>」を参照すること。</p> <p>ウ 書類の提出 「(2)出願書類の提出」に従って、書類を提出すること。</p>
--	---

(2) 出願書類の提出 (郵送のみ)

提出期間	令和3年8月3日(火)～8月31日(火) ※当日消印有効 但し、 <u>8月31日(火)に郵送する場合は、「簡易書留」の「速達」で送ること。</u>
提出書類	<p>ア 受験願書 (No 1、No 2) ※写真を貼付。No 1、No 2の貼り合わせ。</p> <p>イ 受験票 ※郵便はがきに所定の様式を表裏とも貼付、63円分の切手を貼付。</p> <p>ウ 写真票 ※写真を貼付。</p> <p>エ 加点申請書 (申請者のみ) ※免許資格等の証明書類の写しも添付。</p> <p>オ 得点・順位通知用封筒 (希望者のみ)</p> <p>※詳細は「<u>受験願書等作成要領</u>」を参照すること。</p>
注意事項	<p>ア 出願書類は、角形2号封筒に「<u>出願書類提出様式</u>」をはがれないように貼付し、出願に必要な書類をすべて入れて送付すること。</p> <p>イ 「<u>特定記録</u>」または「<u>簡易書留</u>」は郵便局の窓口でのみ引き受けており、ポストに投函することはできないので注意すること。</p> <p>ウ <u>出願最終日に郵送する場合には、「簡易書留」の「速達」で送ること。</u></p> <p>エ <u>書類到着の問合せ等には応じない。各自で追跡サービス等で確認すること。</u></p>

(3) 受験票の発送

受験票は、受験資格審査の結果、申込内容に不備がなければ、令和3年10月上旬をめどに受験番号を付して返送する。受験票の発送をもって受験願書受理通知とする。

6 第一次試験

(1) 試験日時及び会場

日 時	令和3年10月30日(土) 8:30～11:20		
試験会場	南風原高等学校 (住所:南風原町字津嘉山1140)		
時 間	8:30～9:00	9:00～10:00	10:20～11:20
内 容	諸注意	専門試験	教養試験
所要時間	30分	60分	60分

(2) 試験内容

試験名	内 容		
教養試験 (100点)	実習助手及び寄宿舍指導員としての一般的な知識等を有しているかどうかを判断するために、自然科学、社会科学、人文科学、基本的な教育法規等について短期大学卒業程度の筆記試験を行う。		
専門試験 (150点)	選考対象の職種・教科に必要な専門的知識、能力等について短期大学卒業程度の筆記試験を行う。		
	実習助手	普通教科	理科及び家庭科全般について
		農 業	農業全般について
		工 業	工業全般について
		水 産	水産全般について
寄宿舍指導員		寄宿舍指導員の職務全般について	

(3) 第一次試験における加点

実習助手、寄宿舍指導員の職務に資する免許資格を有する者を対象に、教養試験及び専門試験の合計点に30点を上限として加点する。加点を希望する場合は「加点申請書」(別紙様式4)及び免許資格を有していることを証明する書類の写しを出願時に提出すること。

◎加点となる資格等

以下に掲げる免許資格又はこれらと同等以上であると教育委員会が認める専門分野の免許資格

農 業	日本農業技術検定、食品衛生責任者、測量士・測量士補、車両系建設機械技能講習、造園施工管理技能検定、食鳥処理衛生管理者
工 業	技能士(2級)、第1種電気工事士、測量士・測量士補、危険物取扱者甲種、2級建築士
水 産	海技士、総合無線通信士、食品衛生責任者
寄宿舍指導員	介護福祉士、看護師、保育士、精神保健福祉士、言語聴覚士、作業療法士、視能訓練士、理学療法士、保健師

(4) 第一次試験の結果通知

令和3年11月中旬に、県教育委員会ホームページに第一次試験合格者の受験番号を掲載し、合格者には第一次試験合格者通知を送付する。なお、可否に関する問合せには応じない。

第一次試験の得点・順位通知は、結果発表後、希望者に対して発送する。

7 第二次試験(第一次試験合格者に対して行う)

(1) 試験日時及び会場

日 時	令和3年12月11日(土) 8:30 ~	
試験会場	県立総合教育センター (住所: 沖縄市与儀3-1-1)	
時 間	8:30 ~ 9:00	9:00 ~
内 容	諸注意	面接試験
所要時間	30分	一人あたり25分程度

(2) 試験内容

試験名	内 容
面接試験	職務遂行に必要な適性について個人面接を行う。

(3) 第二次試験(最終)の結果通知

令和4年1月中旬に、県教育委員会ホームページに第二次試験(最終)合格者の受験番号を掲載し、合格者には第二次試験合格者通知を送付する予定である。

なお、合否に関する問合せには応じない。

第二次試験の得点・順位通知は、結果発表後、希望者に対して送付する。

8 候補者名簿への登載及び採用

(1) 最終合格者は、令和4年度沖縄県立学校実習助手及び寄宿舎指導員採用候補者名簿に登載され、原則として令和4年4月に採用する。

(2) 最終合格者の数は、年間の欠員見込み数に採用を辞退する者等の数を考慮して決定するため、合格しても採用にならないことがある。

(3) 令和4年度沖縄県立実習助手及び寄宿舎指導員採用候補者名簿の有効期間は、名簿登載確定日から1年間とする。

9 注意事項

(1) 出願・受験資格

ア 提出書類は、一切返却しない。

イ 提出書類等は、記入要領を熟読の上、正確に入力・記入すること。

ウ 受験願書の提出後は、受験職種・教科等の変更その他一切の内容変更・修正は受け付けない。また、願書の再度提出も受け付けない。

エ 提出書類に虚偽又は不正の事実があった場合は受験を認めない。また、後日発覚した場合には合格であっても合格及び採用を取り消す。

オ 令和4年3月31日までに必要な受験資格を取得できない場合は、合格を取り消す。

(2) 試験について

ア 試験実施期間中における受験者及び試験係員以外の者の許可なき会場立入を固く禁ずる。

イ 試験全体を通じて、特別の許可がある場合を除き、試験会場内への車の乗り入れ、送迎のための会場内での車の乗り入れは禁止する。周辺での乗り降りについても、近隣の迷惑にならないよう注意すること。

ウ 試験会場周辺への路上駐車、近隣施設への無断・迷惑駐車を禁ずる。特に、試験終了時に迎えの車を近くで待機させることは、近隣の迷惑になるので固く禁ずる。

エ 筆記試験の持ち物は、次のとおりとする。

受験票、黒鉛筆(HB又はB)、消しゴム
上記意外に、試験時間中に机の上に置けるものは、 ・シャープペンシル ・鉛筆削り(手動、小型のもの。ナイフ不可) ・眼鏡 ・目薬 ・タオル ・ハンカチ ・ティッシュペーパー(携帯用のもの) ・時計(辞書や電卓の機能があるものや音が出るもの、スマートウォッチ(腕時計型情報端末)は不可。小型のものに限る) ※ウェアラブル端末は、種類に係わらず一切不可

- オ 試験当日、受験者は会場内では携帯電話及びウェアラブル端末の電源を切ること。また、試験会場内で録音・録画・撮影・通信・通話等が可能な電子機器を使用することを禁ずる。
- カ 試験会場内及びその周辺はすべて禁煙とする。
- キ 試験会場で出たゴミは持ち帰ること。
- ク 試験中のけが等について、会場では応急処置のみを行うので、万一の事態に備えるほか、必要に応じて保険に加入するなどの準備を行うこと。
- ケ 受験すべき試験等を欠席した場合、その時点で原則辞退として取り扱う。

(3) その他

- ア 実施要項に関する事、電子申請に関する事、その他試験に関する問合せは、受験する本人が直接行うこと。ただし、実施前の試験内容に関する事及び合否に関する事についての問合せには一切応じない。
- イ すべての合否判定において、試験科目のうち著しく低い点数の科目のある者は、その他の科目の点数にかかわらず不合格とすることがある。
- ウ 試験に際し、配慮が必要なことがある場合は、事前に申し出ること。ただし、内容によっては、試験の実施上配慮できない場合もある。
- エ 不合格者への結果通知は行わないので、各自で沖縄県教育委員会ホームページや沖縄県庁掲示板を確認すること。

10 暴風雨時等の対応

暴風雨時の試験実施については、原則として次のとおりとする。なお、試験前や試験当日の実施に変更が生じる場合は、沖縄県教育委員会ホームページ(「沖縄県教育委員会」>「教職員採用等」>「令和3年度実施沖縄県立実習助手及び寄宿舎指導員選考試験」)に掲載するので、各自で参照すること。台風以外の災害発生時も同様とする。電話での問合せは事務に支障が生じるため行わないこと。

- (1) 暴風警報等発令中でも、当日の朝、バスが始発から運行している場合は、試験を実施する。
- (2) 試験開始後、バスが運行停止になった場合、別途指示する。
- (3) 暴風警報等が発令され、バスが始発から運行停止になった場合、その日の試験は行わず延期する。

- 第一次試験を予定している令和3年10月30日(土)に試験を行わなかった場合
令和3年11月6日(土)に日程を変更する。
- 第二次試験を予定している令和3年12月11日(土)に試験を行わなかった場合
令和3年12月18日(土)に日程を変更する。

11 勤務条件等

(1) 給料諸手当

令和3年4月1日現在の初任給は、大学卒200,200円、短大卒177,400円で、経歴その他に応じてこの額以上となる。他に扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等が支給条件に応じて支給される。

(2) 主な勤務条件

勤務時間は、原則として週38時間45分である。勤務時間の割り振りは、勤務校により定められる。休暇等は原則として土曜日・日曜日・国民の祝日、慰霊の日(6月23日)、年末年始(12月29日～1月3日)である。年次休暇が年20日(初年度は15日)付与されるほか、産前産後休暇、育児休暇、育児休業、慶弔休暇、夏季休暇、介護休暇等がる。

(3) 勤務場所

沖縄県内すべての沖縄県立学校(離島を含む)。

<参考資料> 令和2年度実施 選考試験結果

職 種	志願者数	合格者数
実 習 助 手	92 名	13 名
寄 宿 舎 指 導 員	29 名	4 名
合 計	121 名	17 名

問 合 先

沖縄県教育庁 学校人事課 服務・選考試験班
〒900-8571 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号(沖縄県庁舎13階)
TEL 098-866-2730 FAX 098-866-2724

※ お問い合わせは、沖縄県教育委員会ホームページ「お問い合わせフォーム」からお願いします。
「沖縄県教育委員会」>「教職員採用等」>「令和3年度実施沖縄県立実習助手及び寄宿舍指導員
選考試験」>「お問い合わせフォーム」

<http://www.pref.okinawa.jp/edu/jinji/saiyo/index.html>